

# 景況調査

報告書

No. 92

令和3年7月～9月 実績  
令和3年10月～12月 見通し



蒲郡商工会議所  
中小企業相談所

## 令和3年度第2四半期(令和3年7月～9月)景況調査

1. 調査時点 令和3年10月1日～10月25日

2. 調査対象

- (1)対象地区 蒲郡市内  
 (2)対象(回答)企業 109 [102 企業、7団体] 三河織物工業(協)、中部繊維ロープ工業(協)、蒲郡市上下水道工事(協)、蒲郡建設業(協)、三河繊維産元(協)、蒲郡地区旅館組合、蒲郡鉄工会]

3. 調査方法

聞き取り調査によるアンケート調査

4. 回答企業の内訳

業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	運輸通信業	全業種
合計	53 (3)	9 (2)	14 (1)	14	11 (1)	8	109 (7)

※ ( )は団体

5. 概況

全業種総合判断DI値(当期実績)は、前期比では-13.7、前期実績(-6.6)と比較すると-7.1ポイントと下降の傾向が見られ、前年同期比では-10.0、前期実績(6.6)と比較すると-16.6ポイントと下降の傾向が見られた。売上DI値は、前期比で-0.9、前期実績(-1.8)と比較すると0.9ポイントと横バイの傾向が見られた。収益DI値は、前期比で-19.3、前期実績(-10.5)と比較すると-8.8ポイントと下降の傾向が見られた。総合判断来期見通しは-10.1、今期の実績(全業種(当期実績)前期比-13.7)と比較すると3.6ポイントと横バイの傾向が見られた。

「製造業」のうち食料品は売上減少に加え原材料高による収益減少で厳しい状況。織物はコロナ禍の景気低迷もあり売上の減少が続く。漁網・ロープは需要低迷による漁獲量減少で売上10%程度の減少。原材料値上げ、電気料金等のコスト負担が増加。価格転嫁を進めており概ね完了する予定。鉄工のうちく工作機械関係>日本工作機械工業会の受注総額では、7月1,445億円、8月1,349億円、9月1,259億円。7月まで内需外需とも好調を維持するも8月以降、特に中国向けが伸び悩み。当地区で同様の傾向、さらにコスト増による収益悪化が懸念材料。<自動車部品関係>東南アジアでのコロナ感染拡大による部品供給難、世界的な半導体不足で生産調整を強いられた。化学工業は7-9月の現況は 特に中国輸出が好調。

「建設業」は多くの業種で売上増加傾向。一方で木材はじめ建築資材の高騰による収益の圧迫を訴える声が多かった。

「卸売業」のうち、繊維卸は<産業資材>車両用基布は8月以降の部品供給難による生産調整で需要減。他資材は例年の6~7割程度まで回復。<インテリア>巣ごもり需要は落ち着き、一昨年並の状況。新商品や既存商品の動きも回復基調にある。<アパレル>緊急事態宣言下これと言った動きの良いものがなかった。

「小売業」は購買意欲の減少、飲食店への卸しの減少、葬式の家族葬化により売上激減。飲食は春の緊急事態宣言等で需要は一進一退。やや回復傾向が見えるも酒類提供の問題もあり厳しい状況が続いた。石油等その他小売は原油価格(WTI期近物)は協調減産の維持や需要超過、天然ガス・石炭不足等もあって7年ぶりの1バレル80ドル台水準で推移。

「サービス業」のうち旅館関係は緊急事態宣言・まん防等の影響が続く。コロナ禍の2020年度比較でも7・8月は同等程度。9月は5割程度まで落ち込み非常に厳しい状況。コロナ禍前の2019年度比では3~4割に留まった。

「運輸通信業」 貨物輸送では自動車業界の半導体不足の影響により輸送数量が減少。

設備投資状況は、42事業所(60件)で設備投資が実施され「車両運搬具」等に投資された。来期は31事業所(59件)が「生産設備」等の設備投資を計画している。

経営上の問題点は、売上の停滞・減少、原材料(燃料)高、利幅の縮小、人手不足、競争激化、が項目別で上位を占めている。

当地区において 令和3年度第2四半期は弱含み。前期比で売上は横バイも収益・総合は悪化傾向。前年同期比は売上・収益・総合ともに水面下に落ち込んだ。業種毎では、鐵工・建設等が比較的堅調であったのに対し、織物・飲食・観光等では厳しい状況が続いた。経営上の問題点で売上減少が6割を占め、コスト増・収益減を訴える声が4割超に増加。地方における個人消費停滞も加わり、厳しい状況が続いている。

全業種(当期実績)

(DI 単位:%)

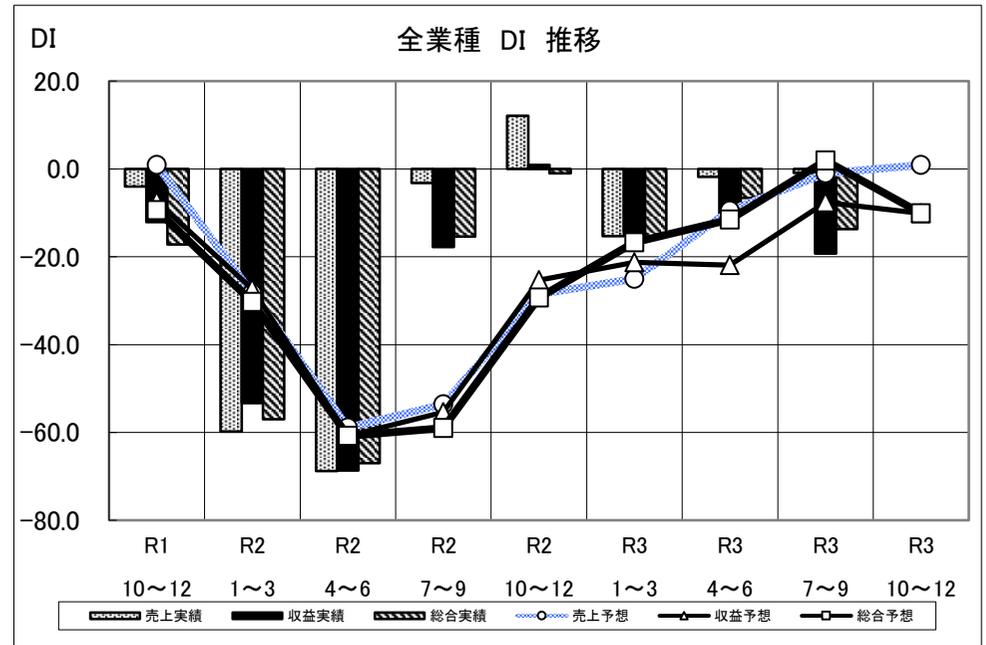
<全業種 各項目期別推移>

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年7月～9月 に比べて	前期比 令和3年4月～6月 に比べて	来期見通し 令和3年10月～12月 の見通し	売上		収益		総合判断			
				前年同期比	前期比	前年同期比	前期比	前年同期比	前期比	来期見通し	
①生産額・売上額	-12.9	-0.9	0.9	R2.7～9月実績	-72.4	-3.2	-60.2	-17.8	-58.6	-15.4	-29.3
②製品・商品在庫	-2.8	0.0	-1.9	R2.10～12月実績	-56.5	12.1	-44.4	0.9	-43.5	-1.0	-16.7
③資金繰り	0.0	-8.3	-1.8	R3.1～3月実績	-30.5	-15.3	-25.8	-14.3	-21.9	-15.4	-11.5
④採算(収益)	-19.3	-19.3	-10.1	R3.4～6月実績	17.8	-1.8	3.8	-10.5	6.6	-6.6	1.9
⑤従業員数(含む臨時・パート)	-1.8	-6.4	1.9	R3.7～9月実績	-12.9	-0.9	-19.3	-19.3	-10.0	-13.7	-10.1
⑥貴社の業況(総合判断)	-10.0	-13.7	-10.1								

[総合判断]

業種	前年同期比	前期比	見通し	業種	前年同期比	前期比	見通し
全業種				卸売業			
				(繊維卸)			
製造業				小売業			
(食料品)				(飲食)			
(織物)				(石油等その他小売)			
(漁網・ローフ)				サービス業			
(鉄工)				(旅館)			
(化学・プラスチック)				運輸通信業			
建設業				(旅客・貨物輸送・水運)			



<業況判断DIの推移>

	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月見通し
売上	-4.0	-59.8	-68.8	-3.2	12.1	-15.3	-1.8	-0.9	0.9
収益	-12.1	-53.3	-68.7	-17.8	0.9	-14.3	-10.5	-19.3	-10.1
総合	-17.2	-57.0	-67.0	-15.4	-1.0	-15.4	-6.6	-13.7	-10.1

◎DI (ディフュージョン・インデックス 業況判断指数)について

DIは景気が上向きか、下向きかを表す指数である。

DI(%)=増加・良好などの割合-減少・悪化などの割合

(注)生産額・売上額 :DI=(増加)-(減少)  
 製品・商品在庫 :DI=(減少)-(増加)  
 資金繰り :DI=(好転)-(悪化)

採算(収益) :DI=(上昇)-(下降)  
 従業員数 :DI=(増加)-(減少)  
 業況(総合判断):DI=(好転)-(悪化)

DIが0より大 ⇒ 景気上向き  
 DIが0 ⇒ 景気横ばい  
 DIが0より小 ⇒ 景気下向き

(総合判断のDIの目安)

DI 50%以上

DI 6~49%

DI 5~-5%



DI -6~-49%

DI -50%以下



## 6. 業種別報告

### 製造業

売上DI値は-1.9、前期実績(4~6月期 1.9)に比して-3.8ポイントの横バイ、収益DI値は-24.5、前期実績(4~6月期 -5.7)に比して-18.8ポイントの下降、総合判断DI値は-11.3、前期実績(4~6月期 -3.9)に比して-7.4ポイントの下降となった。

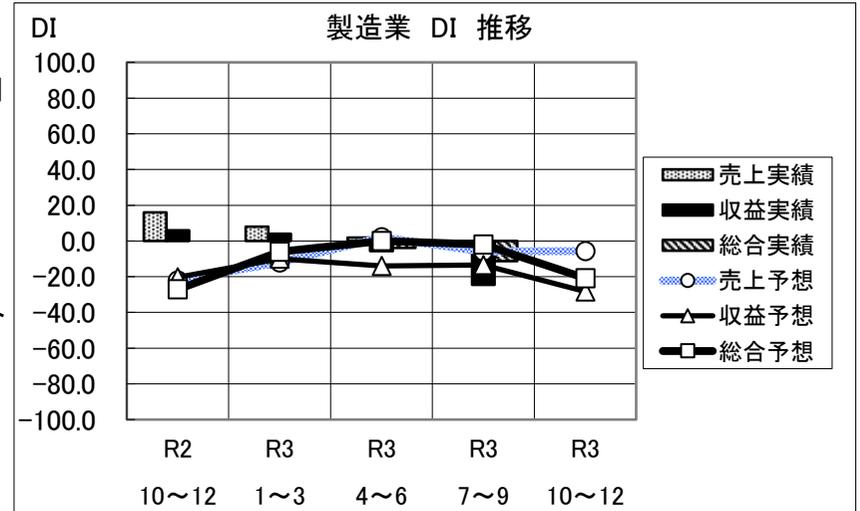
#### 向こう3カ月の見通し

売上DI値は-5.7ポイントの下降、収益DI値は-28.3ポイントの下降、総合判断DI値は-20.8ポイントの下降となっている。

#### 製造業

(DI 単位: %)

	前年同期比 令和2年7月~9月 に比べて	前期比 令和3年4月~6月 に比べて	来期見通し 令和3年10月~12月 の見通し
①生産額・売上額	-3.8	-1.9	-5.7
②製品・商品在庫	0.0	3.7	1.9
③資金繰り	3.8	-11.3	-11.3
④採算(収益)	-9.4	-24.5	-28.3
⑤従業員数(含む臨時・パート)	1.9	-11.4	-1.8
⑥貴社の業況(総合判断)	3.7	-11.3	-20.8



#### <業況判断DIの推移>

	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月見通し
売上	16.0	8.0	1.9	-1.9	-5.7
収益	6.0	4.0	-5.7	-24.5	-28.3
総合	0.0	0.0	-3.9	-11.3	-20.8

### [食料品]

売上DI値は14.3、前期実績(4~6月期 16.6)に比して-2.3ポイントの横バイ、収益DI値は-14.3、前期実績(4~6月期 16.6)に比して-30.9ポイントの下降、総合判断DI値は-14.3、前期実績(4~6月期 0.0)に比して-14.3ポイントの下降となった。売上減少に加え原材料高による収益減少で厳しい状況。

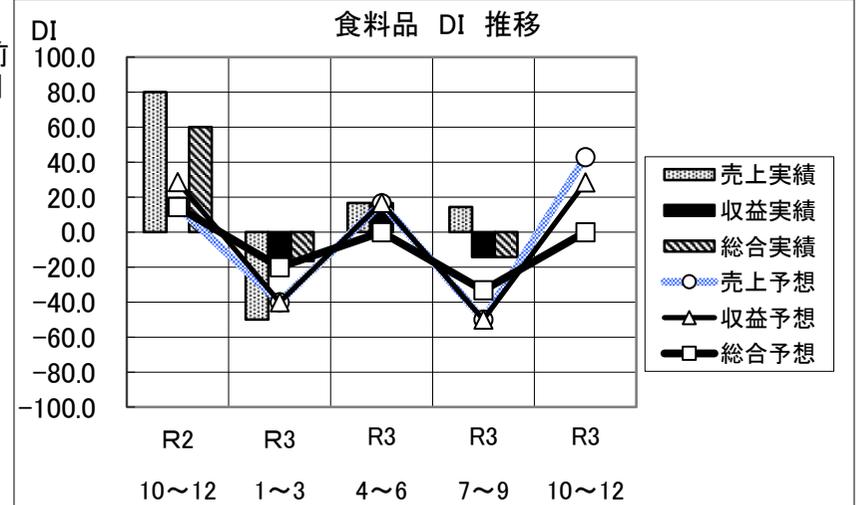
#### 向こう3カ月の見通し

売上DI値は42.8ポイントの上昇、収益DI値は28.5ポイントの上昇、総合判断DI値は0.0ポイントの横バイとなっている。年末年始の需要期に向けて景気回復・正常化に期待。

#### (食料品)

(DI 単位: %)

	前年同期比 令和2年7月~9月 に比べて	前期比 令和3年4月~6月 に比べて	来期見通し 令和3年10月~12月 の見通し
①生産額・売上額	-57.1	14.3	42.8
②製品・商品在庫	14.3	28.6	28.6
③資金繰り	0.0	0.0	14.3
④採算(収益)	-28.6	-14.3	28.5
⑤従業員数(含む臨時・パート)	-14.3	0.0	28.6
⑥貴社の業況(総合判断)	-28.5	-14.3	0.0



#### <業況判断DIの推移>

	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月見通し
売上	80.0	-50.0	16.6	14.3	42.8
収益	0.0	-16.6	16.6	-14.3	28.5
総合	60.0	-16.6	0.0	-14.3	0.0

**【織物】**

売上DI値は-66.7、前期実績(4~6月期 0.0)に比して-66.7ポイントの下降、収益DI値は-33.3、前期実績(4~6月期 -25.0)に比して-8.3ポイントの下降、総合判断DI値は-33.3、前期実績(4~6月期 0.0)に比して-33.3ポイントの下降となった。コロナ禍の景気低迷もあり売上の減少が続く。

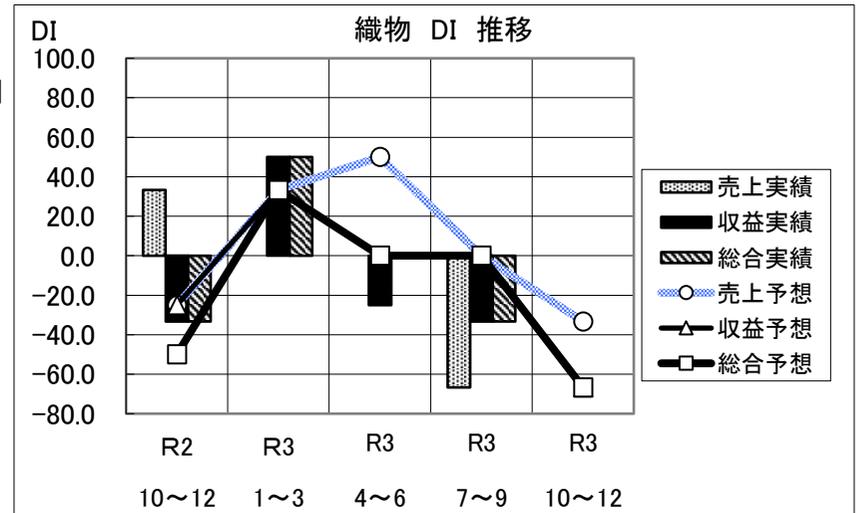
**向こう3カ月の見通し**

売上DI値は-33.3ポイントの下降、収益DI値は-66.7ポイントの下降、総合判断DI値は-66.7ポイントの下降となっている。今後の景気動向もやや不透明な状況で慎重な見通し。

**(織物)**

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年7月~9月 に比べて	前期比 令和3年4月~6月 に比べて	来期見通し 令和3年10月~12月 の見通し
①生産額・売上額	-66.7	-66.7	-33.3
②製品・商品在庫	-33.3	-33.3	-33.3
③資金繰り	-33.3	0.0	-66.7
④採算(収益)	-66.7	-33.3	-66.7
⑤従業員数(含む臨時・パート)	-66.7	-33.3	-33.3
⑥貴社の業況(総合判断)	-66.7	-33.3	-66.7



**<業況判断DIの推移>**

	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月見通し
売上	33.3	0.0	0.0	-66.7	-33.3
収益	-33.3	50.0	-25.0	-33.3	-66.7
総合	-33.3	50.0	0.0	-33.3	-66.7

**【漁網・ロープ】**

売上DI値は-14.3、前期実績(4~6月期 16.6)に比して-30.9ポイントの下降、収益DI値は-57.1、前期実績(4~6月期 -50.0)に比して-7.1ポイントの下降、総合判断DI値は-14.3、前期実績(4~6月期 -33.3)に比して19.0ポイントの上昇となった。需要低迷による漁獲量減少で売上10%程度の減少。原材料値上げ、電気料金等のコスト負担が増加。価格転嫁を進めており概ね完了する予定

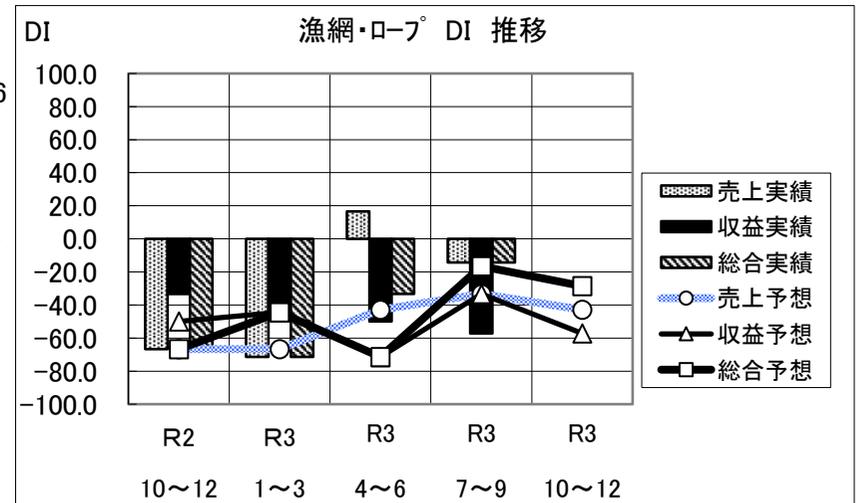
**向こう3カ月の見通し**

売上DI値は-42.9ポイントの下降、収益DI値は-57.1ポイントの下降、総合判断DI値は-28.6ポイントの下降となっている。感染の鎮静化で需要増に期待。水産分野はホタテ関連が順調で今後に期待。

**(漁網・ロープ)**

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年7月~9月 に比べて	前期比 令和3年4月~6月 に比べて	来期見通し 令和3年10月~12月 の見通し
①生産額・売上額	-42.8	-14.3	-42.9
②製品・商品在庫	-28.6	-14.3	-28.6
③資金繰り	0.0	0.0	-14.3
④採算(収益)	-71.4	-57.1	-57.1
⑤従業員数(含む臨時・パート)	14.3	-14.3	0.0
⑥貴社の業況(総合判断)	-28.6	-14.3	-28.6



**<業況判断DIの推移>**

	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月見通し
売上	-66.7	-71.4	16.6	-14.3	-42.9
収益	-33.3	-42.9	-50.0	-57.1	-57.1
総合	-66.7	-71.4	-33.3	-14.3	-28.6

**[鉄工]**

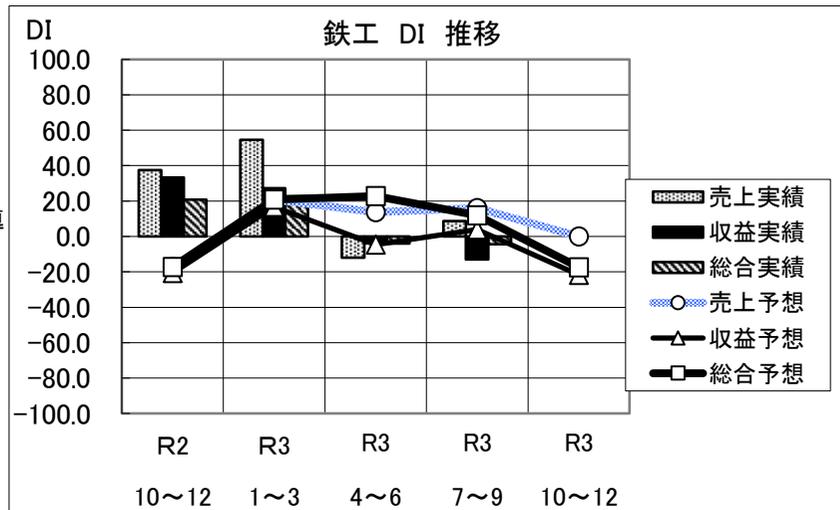
売上DI値は8.7、前期実績(4~6月期 -12.0)に比して20.7ポイントの上昇、収益DI値は-13.0、前期実績(4~6月期 -4.0)に比して-9.0ポイントの下降、総合判断DI値は-4.4、前期実績(4~6月期 -4.0)に比して-0.4ポイントの横バイとなった。<工作機械関係>日本工作機械工業会の受注総額では、7月1,445億円、8月1,349億円、9月1,259億円。7月まで内需外需とも好調を維持するも8月以降、特に中国向けが伸び悩み。当地区で同様の傾向、さらにコスト増による収益悪化が懸念材料。<自動車部品関係>東南アジアでのコロナ感染拡大による部品供給難、世界的な半導体不足で生産調整を強いられた。

**向こう3カ月の見通し**

売上DI値は0.0ポイントの横バイ、収益DI値は-21.7ポイントの下降、総合判断DI値は-17.4ポイントの下降となっている。

**(鉄工) (一般機械器具・輸送用機械・精密機械) (DI 単位:%)**

	前年同期比 令和2年7月~9月 に比べて	前期比 令和3年4月~6月 に比べて	来期見通し 令和3年10月~12月 の見通し
①生産額・売上額	26.1	8.7	0.0
②製品・商品在庫	8.7	8.7	8.7
③資金繰り	21.7	-17.4	-8.7
④採算(収益)	26.1	-13.0	-21.7
⑤従業員数(含む臨時・パート)	17.4	-8.7	-4.4
⑥貴社の業況(総合判断)	30.5	-4.4	-17.4



**<業況判断DIの推移>**

	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月見通し
売上	37.5	54.6	-12.0	8.7	0.0
収益	33.3	27.3	-4.0	-13.0	-21.7
総合	20.8	22.7	-4.0	-4.4	-17.4

**[化学・プラスチック]**

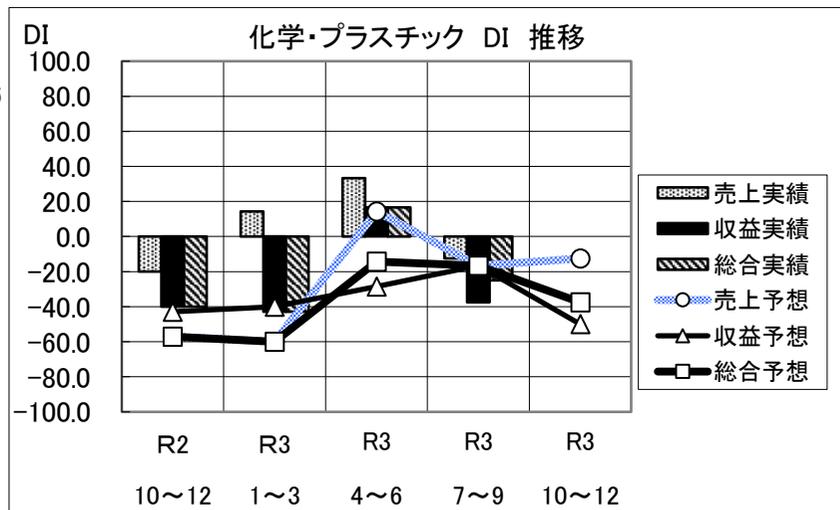
売上DI値は-12.5、前期実績(4~6月期 33.3)に比して-45.8ポイントの下降、収益DI値は-37.5、前期実績(4~6月期 16.6)に比して-54.1ポイントの下降、総合判断DI値は-25.0、前期実績(4~6月期 16.6)に比して-41.6ポイントの下降となった。7-9月の現況は 特に中国輸出が好調。

**向こう3カ月の見通し**

売上DI値は-12.5ポイントの下降、収益DI値は-50.0ポイントの下降、総合判断DI値は-37.5ポイントの下降となっている。10-12月の見通しは 中国の電力事情が 顧客の稼働率に影響し始めている点を懸念。

**(化学・プラスチック) (DI 単位:%)**

	前年同期比 令和2年7月~9月 に比べて	前期比 令和3年4月~6月 に比べて	来期見通し 令和3年10月~12月 の見通し
①生産額・売上額	-12.5	-12.5	-12.5
②製品・商品在庫	0.0	0.0	-12.5
③資金繰り	-25.0	-25.0	-25.0
④採算(収益)	-25.0	-37.5	-50.0
⑤従業員数(含む臨時・パート)	-12.5	-25.0	-12.5
⑥貴社の業況(総合判断)	-12.5	-25.0	-37.5



**<業況判断DIの推移>**

	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月見通し
売上	-20.0	14.3	33.3	-12.5	-12.5
収益	-40.0	-42.9	16.6	-37.5	-50.0
総合	-40.0	-42.9	16.6	-25.0	-37.5

## 建設業

売上DI値は44.4、前期実績(4～6月期 -50.0)に比して94.4ポイントの上昇、収益DI値は11.1、前期実績(4～6月期 -42.9)に比して54.0ポイントの上昇、総合判断DI値は11.1、前期実績(4～6月期 -14.3)に比して25.4ポイントの上昇となった。多くの業種で売上増加傾向。一方で木材はじめ建築資材の高騰による収益の圧迫を訴える声が多かった。

### 向こう3カ月の見通し

売上DI値は0.0ポイントの横バイ、収益DI値は11.1ポイントの上昇、総合判断DI値は11.1ポイントの上昇となっている。

## 建設業

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年7月～9月 に比べて	前期比 令和3年4月～6月 に比べて	来期見通し 令和3年10月～12月 の見通し
①生産額・売上額	11.1	44.4	0.0
②製品・商品在庫	25.0	25.0	25.0
③資金繰り	-11.1	-11.1	0.0
④採算(収益)	0.0	11.1	11.1
⑤従業員数(含む臨時・パート)	-11.1	0.0	11.1
⑥貴社の業況(総合判断)	11.1	11.1	11.1

## 卸売業

売上DI値は-7.1、前期実績(4～6月期 15.4)に比して-22.5ポイントの下降、収益DI値は-21.5、前期実績(4～6月期 -15.4)に比して-6.1ポイントの下降、総合判断DI値は-28.6、前期実績(4～6月期 -23.1)に比して-5.5ポイントの下降となった。

### 向こう3カ月の見通し

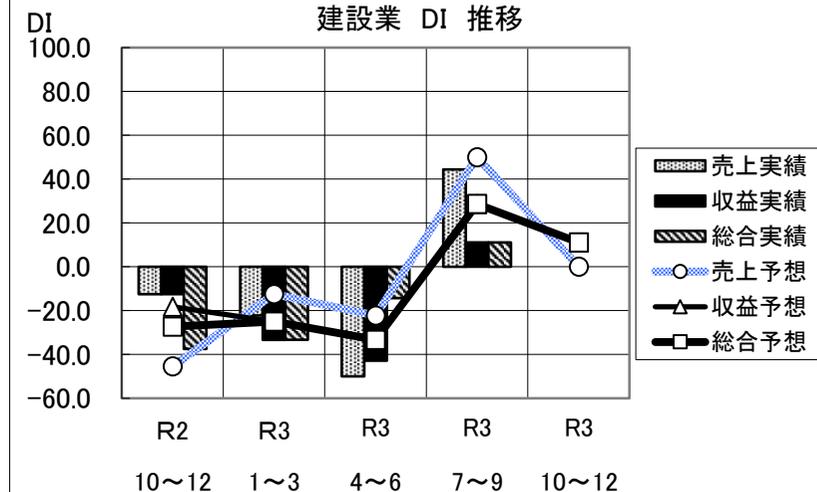
売上DI値は-14.3ポイントの下降、収益DI値は-21.5ポイントの下降、総合判断DI値は-28.6ポイントの下降となっている。

## 卸売業

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年7月～9月 に比べて	前期比 令和3年4月～6月 に比べて	来期見通し 令和3年10月～12月 の見通し
①生産額・売上額	-28.6	-7.1	-14.3
②製品・商品在庫	0.0	0.0	-21.4
③資金繰り	0.0	0.0	0.0
④採算(収益)	-57.2	-21.5	-21.5
⑤従業員数(含む臨時・パート)	-14.3	-7.2	-7.2
⑥貴社の業況(総合判断)	-42.9	-28.6	-28.6

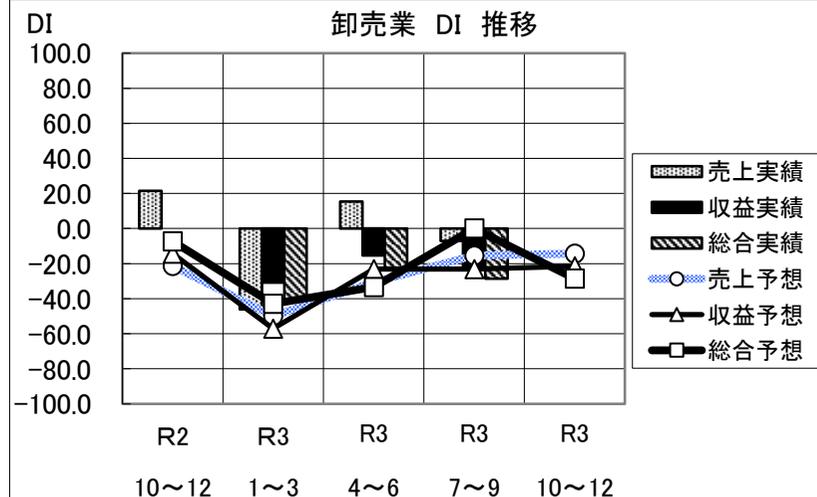
## 建設業 DI 推移



### <業況判断DIの推移>

	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月見通し
売上	-12.5	-22.2	-50.0	44.4	0.0
収益	-12.5	-33.3	-42.9	11.1	11.1
総合	-37.5	-33.3	-14.3	11.1	11.1

## 卸売業 DI 推移



### <業況判断DIの推移>

	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月見通し
売上	21.5	-46.1	15.4	-7.1	-14.3
収益	0.0	-30.8	-15.4	-21.5	-21.5
総合	0.0	-41.7	-23.1	-28.6	-28.6

### 【繊維卸】

売上DI値は-15.4、前期実績(4~6月期 8.3)に比して-23.7ポイントの下降、収益DI値は-23.1、前期実績(4~6月期 -25.0)に比して1.9ポイントの横バイ、総合判断DI値は-30.8、前期実績(4~6月期 -33.3)に比して2.5ポイントの横バイとなった。<産業資材>車両用基布は8月以降の部品供給難による生産調整で需要減。他資材は例年の6~7割程度まで回復。<インテリア>巣ごもり需要は落ち着き、一昨年並の状況。新商品や既存商品の動きも回復基調にある。<アパレル>緊急事態宣言下これと言った動きの良いものがなかった。

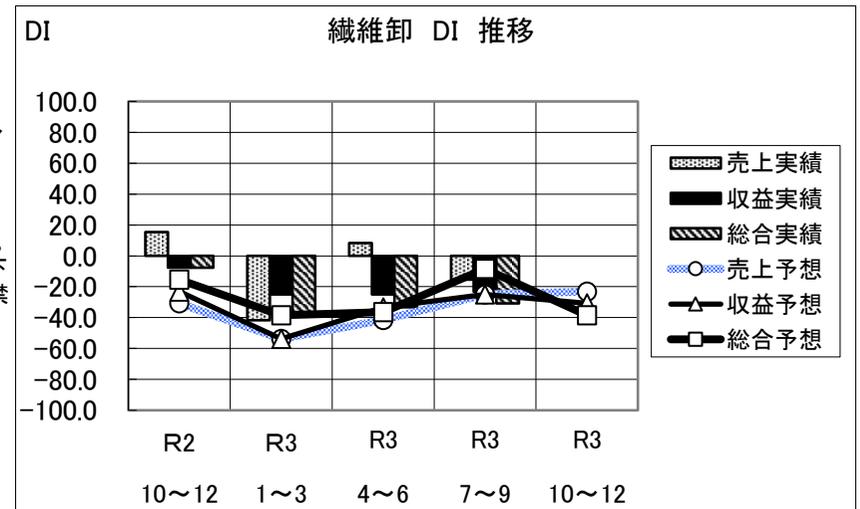
#### 向こう3カ月の見通し

売上DI値は-23.1ポイントの下降、収益DI値は-30.8ポイントの下降、総合判断DI値は-38.5ポイントの下降となっている。<産業資材>車両用基布は半導体等の原材料不足解消が難しく見通しは厳しい。<インテリア>10月に入り気温低下で冬物商品に動きあり。巣ごもり需要による後押しがなく不透明な状況。<アパレル>緊急事態宣言が明け出張も解禁となり営業活動も再開したので今後に期待。

#### (繊維卸)

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年7月~9月 に比べて	前期比 令和3年4月~6月 に比べて	来期見通し 令和3年10月~12月 の見通し
①生産額・売上額	-23.1	-15.4	-23.1
②製品・商品在庫	0.0	0.0	-23.1
③資金繰り	0.0	0.0	0.0
④採算(収益)	-53.8	-23.1	-30.8
⑤従業員数(含む臨時・パート)	-7.7	0.0	-15.4
⑥貴社の業況(総合判断)	-38.5	-30.8	-38.5



#### <業況判断DIの推移>

	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月見通し
売上	15.4	-41.7	8.3	-15.4	-23.1
収益	-7.7	-25.0	-25.0	-23.1	-30.8
総合	-7.7	-36.4	-33.3	-30.8	-38.5

### 小売業

売上DI値は-14.3、前期実績(4~6月期 -27.8)に比して13.5ポイントの上昇、収益DI値は-50.0、前期実績(4~6月期 -23.6)に比して-26.4ポイントの下降、総合判断DI値は-28.6、前期実績(4~6月期 -22.2)に比して-6.4ポイントの下降となった。購買意欲の減少、飲食店への卸しの減少、葬式の家族葬化により売上激減。

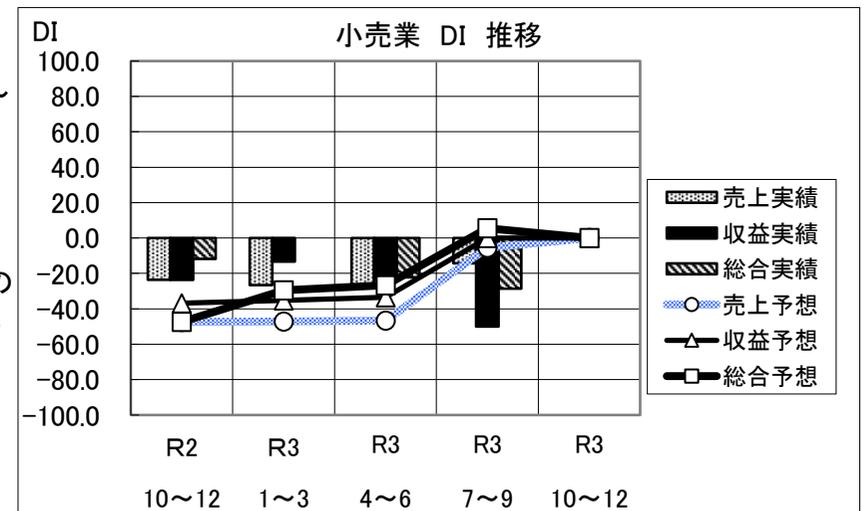
#### 向こう3カ月の見通し

売上DI値は0.0ポイントの横バイ、収益DI値は0.0ポイントの横バイ、総合判断DI値は0.0ポイントの横バイとなっている。コロナ規制緩和による消費意欲の向上、GoGo商品券による新規顧客の獲得に期待。

#### 小売業

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年7月~9月 に比べて	前期比 令和3年4月~6月 に比べて	来期見通し 令和3年10月~12月 の見通し
①生産額・売上額	-50.0	-14.3	0.0
②製品・商品在庫	-7.2	-7.7	7.2
③資金繰り	-21.5	-14.3	-7.1
④採算(収益)	-57.2	-50.0	0.0
⑤従業員数(含む臨時・パート)	-28.6	-7.2	7.1
⑥貴社の業況(総合判断)	-42.9	-28.6	0.0



#### <業況判断DIの推移>

	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月見通し
売上	-23.6	-26.6	-27.8	-14.3	0.0
収益	-23.6	-13.3	-23.6	-50.0	0.0
総合	-11.8	0.0	-22.2	-28.6	0.0

### [飲食]

売上DI値は-50.0、前期実績(4~6月期 0.0)に比して-50.0ポイントの下降、収益DI値は-50.0、前期実績(4~6月期 0.0)に比して-50.0ポイントの下降、総合判断DI値は-50.0、前期実績(4~6月期 -33.4)に比して-16.6ポイントの下降となった。春の緊急事態宣言等で需要は一進一退。やや回復傾向が見えるも酒類提供の問題もあり厳しい状況が続いた。

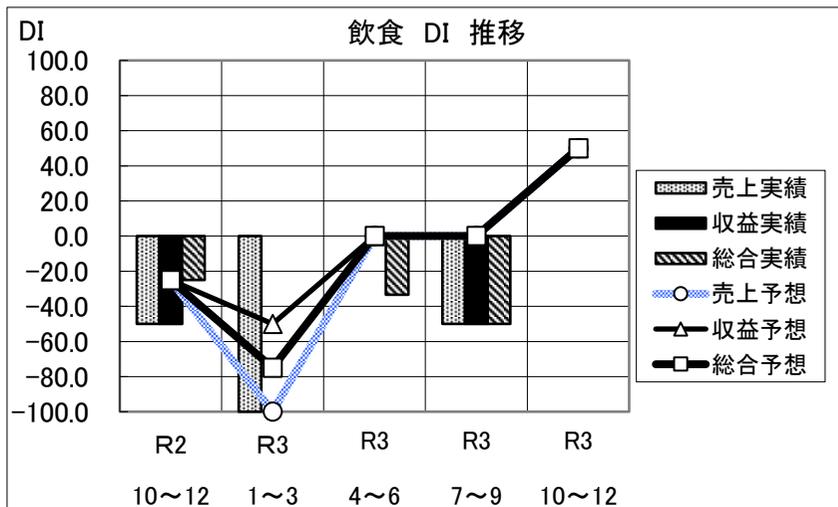
#### 向こう3カ月の見通し

売上DI値は50.0ポイントの上昇、収益DI値は50.0ポイントの上昇、総合判断DI値は50.0ポイントの上昇となっている。自粛要請等が解かれ年末年始に向け、需要の回復に期待。

#### (飲食)

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年7月~9月 に比べて	前期比 令和3年4月~6月 に比べて	来期見通し 令和3年10月~12月 の見通し
①生産額・売上額	-50.0	-50.0	50.0
②製品・商品在庫	0.0	0.0	0.0
③資金繰り	-50.0	-50.0	50.0
④採算(収益)	-50.0	-50.0	50.0
⑤従業員数(含む臨時・パート)	0.0	0.0	0.0
⑥貴社の業況(総合判断)	-50.0	-50.0	50.0



#### <業況判断DIの推移>

	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月見通し
売上	-50.0	-100.0	0.0	-50.0	50.0
収益	-50.0	0.0	0.0	-50.0	50.0
総合	-25.0	0.0	-33.4	-50.0	50.0

### [石油等その他小売]

売上DI値は14.3、前期実績(4~6月期 -28.6)に比して42.9ポイントの上昇、収益DI値は-42.8、前期実績(4~6月期 -57.1)に比して14.3ポイントの上昇、総合判断DI値は0.0、前期実績(4~6月期 -28.6)に比して28.6ポイントの上昇となった。原油価格(WTI期近物)は協調減産の維持や需要超過、天然ガス・石炭不足等もあって7年ぶりの1バレル80ドル台水準で推移。

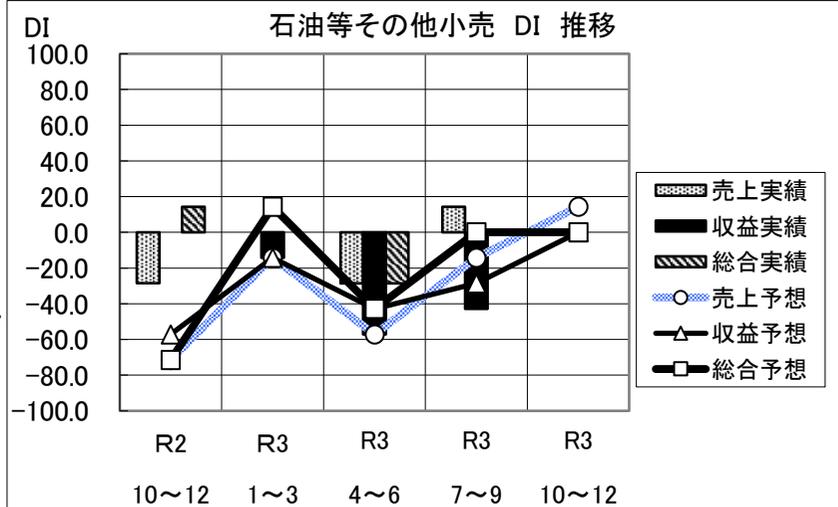
#### 向こう3カ月の見通し

売上DI値は14.3ポイントの上昇、収益DI値は0.0ポイントの横バイ、総合判断DI値は0.0ポイントの横バイとなっている。世界的な脱炭素化の潮流を踏まえて投資が抑制されており、原油の価格上昇圧力は当面強い見込み。

#### (石油等その他小売)

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年7月~9月 に比べて	前期比 令和3年4月~6月 に比べて	来期見通し 令和3年10月~12月 の見通し
①生産額・売上額	-42.8	14.3	14.3
②製品・商品在庫	14.3	16.7	14.3
③資金繰り	0.0	0.0	0.0
④採算(収益)	-42.8	-42.8	0.0
⑤従業員数(含む臨時・パート)	-57.1	-14.3	14.3
⑥貴社の業況(総合判断)	-14.3	0.0	0.0



#### <業況判断DIの推移>

	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月見通し
売上	-28.5	0.0	-28.6	14.3	14.3
収益	0.0	-14.3	-57.1	-42.8	0.0
総合	14.3	0.0	-28.6	0.0	0.0

### サービス業

売上DI値は0.0、前期実績(4~6月期 -10.0)に比して10.0ポイントの上昇、収益DI値は18.1、前期実績(4~6月期 -20.0)に比して38.1ポイントの上昇、総合判断DI値は9.1、前期実績(4~6月期 10.0)に比して-0.9ポイントの横バイとなった。

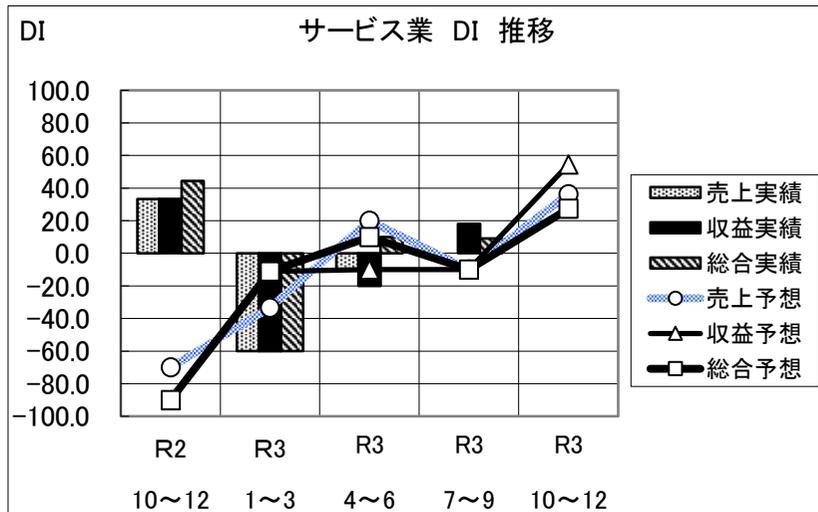
#### 向こう3カ月の見通し

売上DI値は36.3ポイントの上昇、収益DI値は54.5ポイントの上昇、総合判断DI値は27.3ポイントの上昇となっている。

### サービス業

(DI 単位: %)

	前年同期比 令和2年7月~9月 に比べて	前期比 令和3年4月~6月 に比べて	来期見通し 令和3年10月~12月 の見通し
①生産額・売上額	-36.3	0.0	36.3
②製品・商品在庫	-9.1	0.0	-9.1
③資金繰り	9.1	0.0	36.4
④採算(収益)	0.0	18.1	54.5
⑤従業員数(含む臨時・パート)	9.1	0.0	0.0
⑥貴社の業況(総合判断)	-27.3	9.1	27.3



#### <業況判断DIの推移>

	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月見通し
売上	33.3	-60.0	-10.0	0.0	36.3
収益	33.3	-60.0	-20.0	18.1	54.5
総合	44.4	-60.0	10.0	9.1	27.3

### 【旅館】

売上DI値は28.5、前期実績(4~6月期 20.0)に比して8.5ポイントの上昇、収益DI値は14.2、前期実績(4~6月期 0.0)に比して14.2ポイントの上昇、総合判断DI値は14.3、前期実績(4~6月期 20.0)に比して-5.7ポイントの下降となった。緊急事態宣言・まん防等の影響が続く。コロナ禍の2020年度比較でも7・8月は同等程度。9月は5割程度まで落ち込み非常に厳しい状況。コロナ禍前の2019年度比では3~4割に留まった。

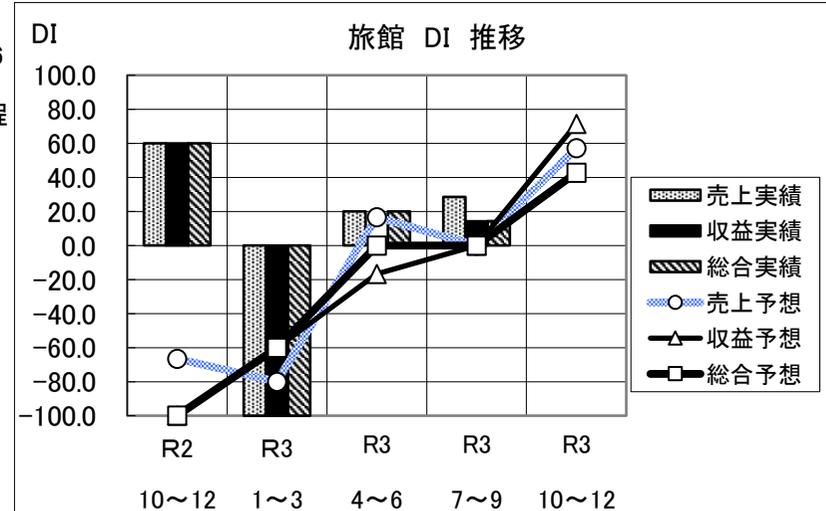
#### 向こう3カ月の見通し

売上DI値は57.1ポイントの上昇、収益DI値は71.4ポイントの上昇、総合判断DI値は42.8ポイントの上昇となっている。旅行需要喚起策も徐々に開始され、今後に期待。GoToトラベルの再開や年末年始の需要に期待。

### (旅館)

(DI 単位: %)

	前年同期比 令和2年7月~9月 に比べて	前期比 令和3年4月~6月 に比べて	来期見通し 令和3年10月~12月 の見通し
①生産額・売上額	-42.8	28.5	57.1
②製品・商品在庫	-14.3	0.0	-14.3
③資金繰り	0.0	-14.3	42.9
④採算(収益)	-28.5	14.2	71.4
⑤従業員数(含む臨時・パート)	0.0	0.0	0.0
⑥貴社の業況(総合判断)	-42.8	14.3	42.8



#### <業況判断DIの推移>

	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月見通し
売上	60.0	-100.0	20.0	28.5	57.1
収益	60.0	-100.0	0.0	14.2	71.4
総合	60.0	-100.0	20.0	14.3	42.8

### 運輸通信業

売上DI値は-12.5、前期実績(4~6月期 83.3)に比して-95.8ポイントの下降、収益DI値は-12.5、前期実績(4~6月期 50.0)に比して-62.5ポイントの下降、総合判断DI値は-37.5、前期実績(4~6月期 33.3)に比して-70.8ポイントの下降となった。

#### 向こう3カ月の見通し

売上DI値は25.0ポイントの上昇、収益DI値は0.0ポイントの横バイ、総合判断DI値は0.0ポイントの横バイとなっている。

### 運輸通信業

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年7月~9月 に比べて	前期比 令和3年4月~6月 に比べて	来期見通し 令和3年10月~12月 の見通し
①生産額・売上額	25.0	-12.5	25.0
②製品・商品在庫	-42.9	-42.9	-28.6
③資金繰り	12.5	0.0	12.5
④採算(収益)	0.0	-12.5	0.0
⑤従業員数(含む臨時・パート)	37.5	12.5	25.0
⑥貴社の業況(総合判断)	12.5	-37.5	0.0

### [旅客・貨物輸送・水運]

売上DI値は0.0、前期実績(4~6月期 83.3)に比して-83.3ポイントの下降、収益DI値は-14.3、前期実績(4~6月期 50.0)に比して-64.3ポイントの下降、総合判断DI値は-28.6、前期実績(4~6月期 33.3)に比して-61.9ポイントの下降となった。自動車業界の半導体不足の影響により輸送数量が減少。

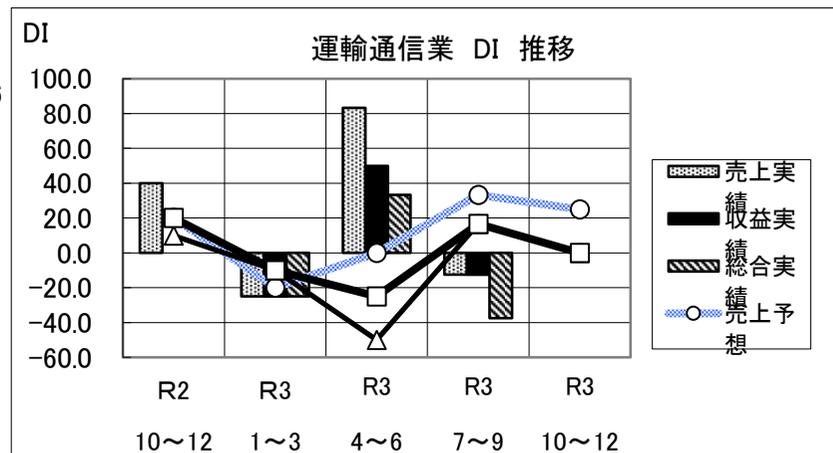
#### 向こう3カ月の見通し

売上DI値は42.8ポイントの上昇、収益DI値は14.3ポイントの上昇、総合判断DI値は14.3ポイントの上昇となっている。自動車業界の半導体不足の影響により輸送数量が減少。

### (旅客・貨物輸送・水運)

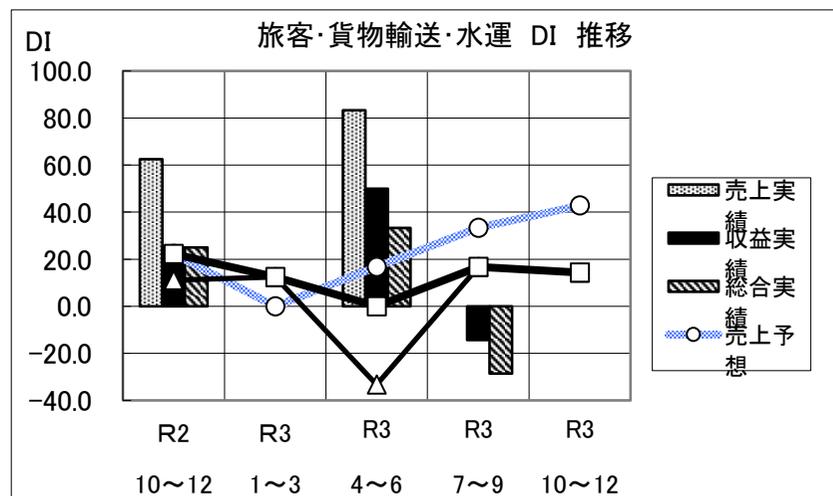
(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年7月~9月 に比べて	前期比 令和3年4月~6月 に比べて	来期見通し 令和3年10月~12月 の見通し
①生産額・売上額	42.8	0.0	42.8
②製品・商品在庫	-33.3	-33.3	-16.6
③資金繰り	14.3	0.0	14.3
④採算(収益)	14.3	-14.3	14.3
⑤従業員数(含む臨時・パート)	42.9	14.3	28.6
⑥貴社の業況(総合判断)	28.6	-28.6	14.3



#### <業況判断DIの推移>

	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月見通し
売上	40.0	-25.0	83.3	-12.5	25.0
収益	0.0	-25.0	50.0	-12.5	0.0
総合	0.0	-25.0	33.3	-37.5	0.0

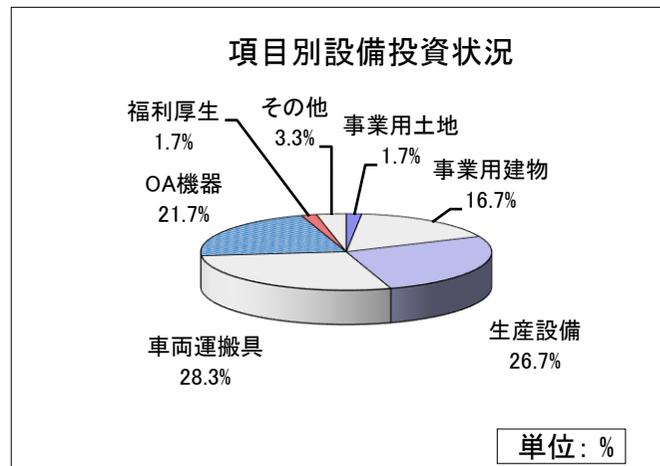
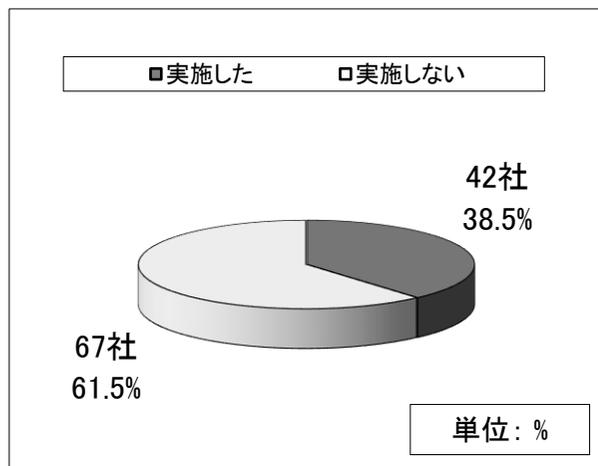


#### <業況判断DIの推移>

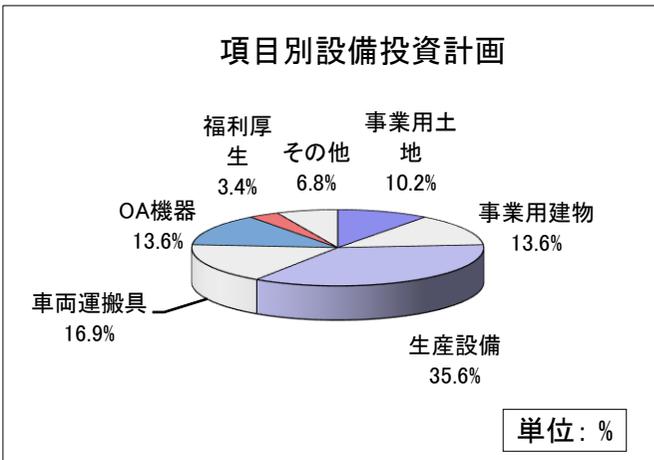
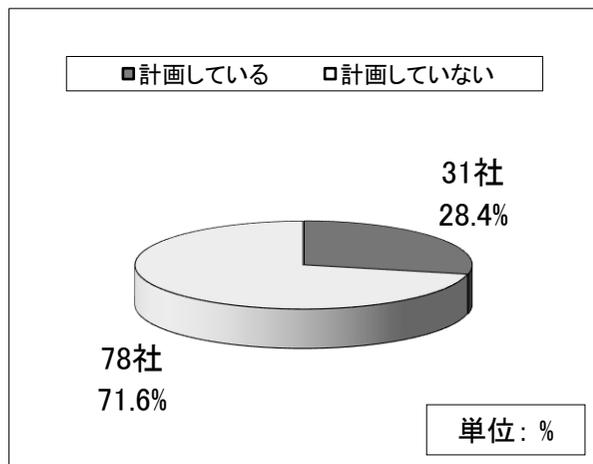
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月見通し
売上	62.5	0.0	83.3	0.0	42.8
収益	25.0	0.0	50.0	-14.3	14.3
総合	25.0	0.0	33.3	-28.6	14.3

## 7. 設備投資動向

＜今期 R3.7～9） 設備投資実施状況 全業種＞



＜来期 R3.10～12） 設備投資実施状況 全業種＞



◎設備投資・計画内容(全業種)

	今期	来期見通し
事業用土地	1	6
事業用建物	10	8
生産設備	16	21
車両運搬具	17	10
OA機器	13	8
福利厚生	1	2
その他	2	4
計	60	59

(単位:件)

◎今期・来期 設備投資実施、計画動向

		全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	運輸通信業
1. 今期	R3.7～9	42	25	2	4	4	2	5
2. 来期	R3.10～12	31	22	1	1	1	3	3

(単位:事業所)

## 8. 経営上の問題点

### 項目別経営上の問題点(全業種)

(上位5項目 回答企業数 109 社)

	項目	件数 %
1	売上の停滞・減少	65 59.6%
2	原材料(燃料)高	49 45.0%
3	利幅の縮小	43 39.4%
4	人手不足	31 28.4%
5	競争激化	18 16.5%

(複数回答の為、総数と一致しません。)

### 業種別経営上の問題点

(上位3項目)

	1 位	2 位	3 位
製造業 53 社	売上の停滞・減少 31 社 58.5%	原材料(燃料)高 25 社 47.2%	利幅の縮小 22 社 41.5%
建設業 9 社	原材料(燃料)高 7 社 77.8%	利幅の縮小 5 社 55.6%	売上の停滞・減少 3 社 33.3%
卸売業 14 社	売上の停滞・減少 9 社 64.3%	原材料(燃料)高 8 社 57.1%	利幅の縮小 6 社 42.9%
小売業 14 社	売上の停滞・減少 9 社 64.3%	人手不足 6 社 42.9%	利幅の縮小 5 社 35.7%
サービス業 11 社	売上の停滞・減少 9 社 81.8%	消費者ニーズの変化の対応 5 社 45.5%	競争激化 2 社 18.2%
運輸通信業 8 社	売上の停滞・減少 4 社 50.0%	原材料(燃料)高 4 社 50.0%	利幅の縮小 3 社 37.5%

(複数回答の為、総数と一致しません。)

# 付帯調査(地域データ)

No.92

番号	調査項目	単位	R03.11報告	基準日	R03.08報告	基準日	R03.05報告	基準日	R03.02報告	基準日	出典
1	人口	人	79,447	R3.9.1	79,468	R3.7.1	79,558	R3.4.1	79,684	R2.12.1	蒲郡市市民課 住民基本台帳
	(うち外国人)		3,211		3,224		3,229		3,236		
2	世帯数	世帯	33,179	R3.9.1	34,763	R3.7.1	33,045	R3.4.1	32,979	R2.12.1	"
	(うち外国人)		1,540		1,572		1,513		1,592		
3	15才～65才生産人口	人	47,362	R3.9.1	47,406	R3.7.1	47,518	R3.4.1	47,562	R2.12.1	"
	(うち外国人)		2,645		2,665		2,669		2,663		
4	全国完全失業率	%		R3.7～9月	3.0	R3.4～6月	2.8	R3.1～3月	2.9	R2.10～12月	総務省 「労働力調査」
	愛知県完全失業率	%		R3.7～9月	2.7	R3.4～6月	2.7	R3.1～3月	2.9	R2.10～12月	愛知県 「労働力調査地方集計結果」
5	全国有効求人倍率	倍	1.14	R3.8月	1.09	R3.5月	1.09	R03.2月	1.06	R02.12月	厚生労働省 「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」
	蒲郡管内有効求人倍率	倍	0.62	R3.8月	0.59	R3.5月	0.82	R03.2月	0.63	R02.11月	豊川公共職業安定所蒲郡出張所 業務月報より

全国データ

	労働			設備投資・住宅投資		GDP・景気動向指数		消費	
	完全失業者数 (万人)	完全失業率 (季調・%)	有効求人倍率 (季調・倍)	機械受注 <small>(船舶を除く前年同月比%)</small>	新設住宅着工 (戸数)	名目国内総生産 (兆円)	実質成長率 <small>実質季節調整系列(前期比)</small>	消費支出 <small>前年同月比(実質)</small>	新車販売台数(登録車) (万台)
1996年度	225	3.3	0.72	11.4	1,630,378	528.8	2.9	1.0	-
1997年度	236	3.5	0.69	▲ 3.9	1,341,347	533.4	0.0	▲ 0.2	-
1998年度	294	4.3	0.50	▲ 18.6	1,179,536	526.0	▲ 0.9	▲ 0.8	-
1999年度	320	4.7	0.49	0.6	1,226,207	521.9	0.7	▲ 1.8	-
2000年度	320	4.7	0.59	16.6	1,213,157	528.4	2.5	▲ 1.2	-
2001年度	340	5.0	0.59	▲ 12.6	1,173,170	519.2		▲ 1.7	-
2002年度	359	5.4	0.54	▲ 3.7	1,145,553	514.9	0.9	0.1	-
2003年度	350	5.3	0.64	8.2	1,173,649	517.7	2.0	▲ 1.0	588.7
2004年度	313	4.7	0.83	6.5	1,193,038	521.3	1.7	0.4	582.1
2005年度	294	4.4	0.95	5.6	1,249,366	525.6	1.0	▲ 0.4	586.2
2006年度	275	4.1	1.06	5.0	1,285,246	529.0	1.4	▲ 2.2	561.9
2007年度	257	3.9	1.04	2.3	1,035,598	530.9	1.2	0.9	532.0
2008年度	265	4.0	0.88	▲ 16.6	1,039,214	509.5	▲ 3.4	▲ 1.9	470.1
2009年度	336	5.1	0.47	▲ 15.4	775,277	492.0	▲ 2.2	▲ 0.2	488.0
2010年度	334	5.1	0.52	19.4	819,020	499.4	3.3	0.3	460.1
2011年度	284	4.5	0.65	4.2	841,246	494.0	0.5	▲ 2.2	475.3
2012年度	285	4.3	0.80	▲ 7.1	893,002	494.4	0.8	1.1	521.0
2013年度	265	4.0	0.93	10.6	987,254	507.3	2.6	1.0	569.2
2014年度	236	3.6	1.09	8.0	880,470	518.2	▲ 0.4	▲ 2.9	529.7
2015年度	222	3.4	1.23	▲ 1.2	920,537	532.9	1.3	▲ 2.3	493.8
2016年1月	215	3.2	1.28	▲ 11.3	67,815			▲ 3.1	23.7
(平成28年)2月	217	3.3	1.28	▲ 6.7	72,831	135.8	0.5	1.2	27.5
3月	214	3.2	1.30	9.8	75,744			▲ 5.3	40.4
4月	214	3.2	1.34	▲ 1.1	82,398			▲ 0.4	21.2
5月	212	3.2	1.36	▲ 7.3	78,728	134.2	0.1	▲ 1.1	22.3
6月	208	3.2	1.37	1.3	85,953			▲ 2.2	28.7
7月	201	3.1	1.37	▲ 4.2	85,208			▲ 0.5	28.1
8月	208	3.1	1.37	0.2	82,242	132.6	0.2	▲ 4.6	22.3
9月	202	3.0	1.38	▲ 4.5	85,622			▲ 2.1	31.7
10月	198	3.0	1.40	▲ 10.9	87,707			▲ 0.4	24.2
11月	200	3.1	1.41	24.5	85,051	141.6	0.3	▲ 1.5	27.3
12月	202	3.1	1.43	17.3	78,406			▲ 0.3	26.4
2017年1月	202	3.0	1.43	10.7	76,491			▲ 1.2	25.8
(平成29年)2月	192	2.8	1.43	▲ 0.7	70,912	136.2	0.7	▲ 3.8	31.2
3月	187	2.8	1.45	▲ 12.5	75,887			▲ 1.3	46.0
4月	187	2.8	1.48	▲ 0.2	83,979			▲ 1.4	22.4
5月	206	3.1	1.49	8.6	78,481	136.0	0.3	▲ 0.1	23.7
6月	190	2.8	1.51	3.4	87,456			2.3	31.5
7月	189	2.8	1.52	10.5	83,234			▲ 0.2	27.8
8月	185	2.8	1.52	19.7	80,562	135.7	0.8	0.6	23.3
9月	188	2.8	1.52	7.6	83,128			▲ 0.3	31.8
10月	184	2.8	1.55	12.3	83,057			0.0	23.1
11月	180	2.7	1.56	5.8	84,703	145/0	0.4	1.7	25.8
12月	181	2.8	1.59	▲ 6.6	76,751			▲ 0.1	26.2
2018年1月	164	2.4	1.59	8.7	66,358			2.0	24.3
(平成30年)2月	170	2.5	1.58	7.8	69,071	138.8	0.0	0.1	29.6
3月	172	2.5	1.59	▲ 2.8	69,616			▲ 0.2	43.8
4月	172	2.5	1.59	11.4	84,226			▲ 1.3	22.5
5月	155	2.2	1.60	15.3	79,539	137.8	0/0	▲ 3.9	23.6
6月	167	2.4	1.62	▲ 4.2	81,275			▲ 1.2	29.2
7月	170	2.4	1.63	11.3	82,615			0.1	28.1
8月	166	2.4	1.63	4.9	81,860	135.1	▲ 0.7	2.8	23.3
9月	161	2.3	1.64	▲ 5.4	81,903			▲ 1.6	30.8
10月	166	2.4	1.62	6.1	83,330			▲ 0.3	26.1
11月	169	2.5	1.63	4.0	84,213	144.3	0.5	▲ 0.6	27.9
12月	164	2.4	1.63	▲ 4.0	78,364			▲ 0.1	25.0
2019年1月	172	2.5	1.63	▲ 8.5	67,087			2.0	24.9
(平成31年)2月	160	2.3	1.63	▲ 3.7	71,966	139.5	0.6	1.7	30.0
3月	174	2.5	1.62	▲ 0.2	76,558			2.1	41.7
4月	168	2.4	1.63	▲ 6.0	79,389			1.3	23.0
(令和元年)5月	162	2.4	1.62	▲ 10.1	72,581	139.2	0.1	4.0	24.7
6月	161	2.3	1.61	0.9	81,541			2.7	29.0
7月	154	2.2	1.59	▲ 10.6	79,232			0.8	30.0
8月	154	2.2	1.59	0.9	76,034	137.6	0.2	1.0	24.2
9月	167	2.4	1.58	▲ 6.4	77,915			9.5	34.7
10月	166	2.2	1.58	▲ 8.8	77,123			▲ 5.1	19.2
11月	151	2.2	1.57	▲ 15.2	73,523	144.8	▲ 1.8	▲ 2.0	23.8
12月	145	2.2	1.57	▲ 7.9	72,174			▲ 4.8	22.6
2020年1月	159	2.3	1.49	▲ 0.8	60,341			▲ 3.9	22.1
(令和2年)2月	159	2.4	1.45	▲ 7.7	63,105	137.9	▲ 0.6	▲ 0.3	26.8
3月	176	2.5	1.39	0.1	70,729			▲ 6.0	37.4
4月	189	2.6	1.32	▲ 10.1	69,162			▲ 11.1	17.2
5月	198	2.9	1.20	▲ 20.9	63,839	126.6	▲ 7.9	▲ 16.2	14.7
6月	195	2.8	1.11	▲ 22.4	71,101			▲ 1.2	21.4
7月	197	2.9	1.08	▲ 17.9	70,244			▲ 7.6	23.9
8月	206	3.0	1.04	▲ 17.0	69,101	131.2	5.4	▲ 6.9	19.7
9月	210	3.0	1.03	▲ 1.5	70,186			▲ 10.2	29.3
10月	215	3.1	1.04	▲ 1.2	70,685			1.9	25.3
11月	195	2.9	1.06	1.3	70,798	143.3	2.8	1.1	25.3
12月	194	2.9	1.06	18.7	65,643			▲ 0.6	24.3
2021年1月	197	2.9	1.10	▲ 1.0	58,448			▲ 6.1	23.6
(令和3年)2月	194	2.9	1.09	39.8	60,764	135.5	▲ 1.1	▲ 6.8	26.2
3月	188	2.6	1.10	▲ 5.4	71,787			6.2	38.4
4月	209	2.8	1.09	14.7	74,521			13.0	21.0
5月	211	3.0	1.09	41.1	70,178	134.7	0.5	11.6	19.3
6月	206	2.9	1.13	35.5	76,312			▲ 5.1	23.4
7月	191	2.8	1.15	43.9	77,182			0.7	24.7
8月	193	2.8	1.14	20.6	74,303			▲ 3.0	20.7
9月			1.16		73,178				20.5

(内閣府)

(国土交通省)

(内閣府)

(総務省)

(自販連統計)